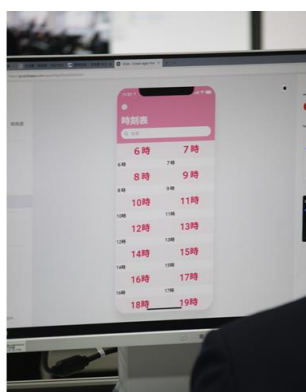


校長室だより No.16 12月19日(木)
大分県立情報科学高校との遠隔授業

本校は平成29年度から同じ「情報科学」という名前を持つ大分県立情報科学高校と姉妹校協定を結び、交流を続けています。先だつては情報ITフェアに校長先生をはじめ3名の先生方に視察に来ていただき、教員同士の交流を深めたところです。昨日は回線を結んで「遠隔授業」を行ったので、その様子を紹介します。



授業者は本校の吉田教諭。「スマートフォンアプリの作成」をテーマに本校の生徒と大分の生徒が同じ内容の学習をしました。普段生活しているなかで「こんなアプリがあったら便利だろうな」という場面を想定し、それを自分たちで創るノウハウを実践的に学びます。

大分の生徒たちは吉田教諭の説明を聞きながら作業を手順良く実施しています。吉田教諭はこのような遠隔通信技術にも精通しているので、いとも簡単に実施してしまいますが、これが誰でも簡単にできるようになれば、授業の形態は大きく変わっていくことが容易に想像できます。最新の技術を企業のシステムエンジニアの方に指導してもらおう。生徒が作成したホームページをWebデザイナーにリアルタイムで講評してもらおう等、これまで旅費をかけて指導していただいていたことが遠隔授業で簡単に実現してしまいます。

今回の遠隔授業のような最先端のIT技術の利用は、本校が目指す「社会に開かれた学校」の実現に大きな役割を果たしていくことでしょう。そして、これからも大分の情報科学高校とはお互いの良いところを吸収しあいながら、共に進んでいきたいと思っています。

